

302
69

6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 7

明治大正
昭和
文藝筆禍索引

始

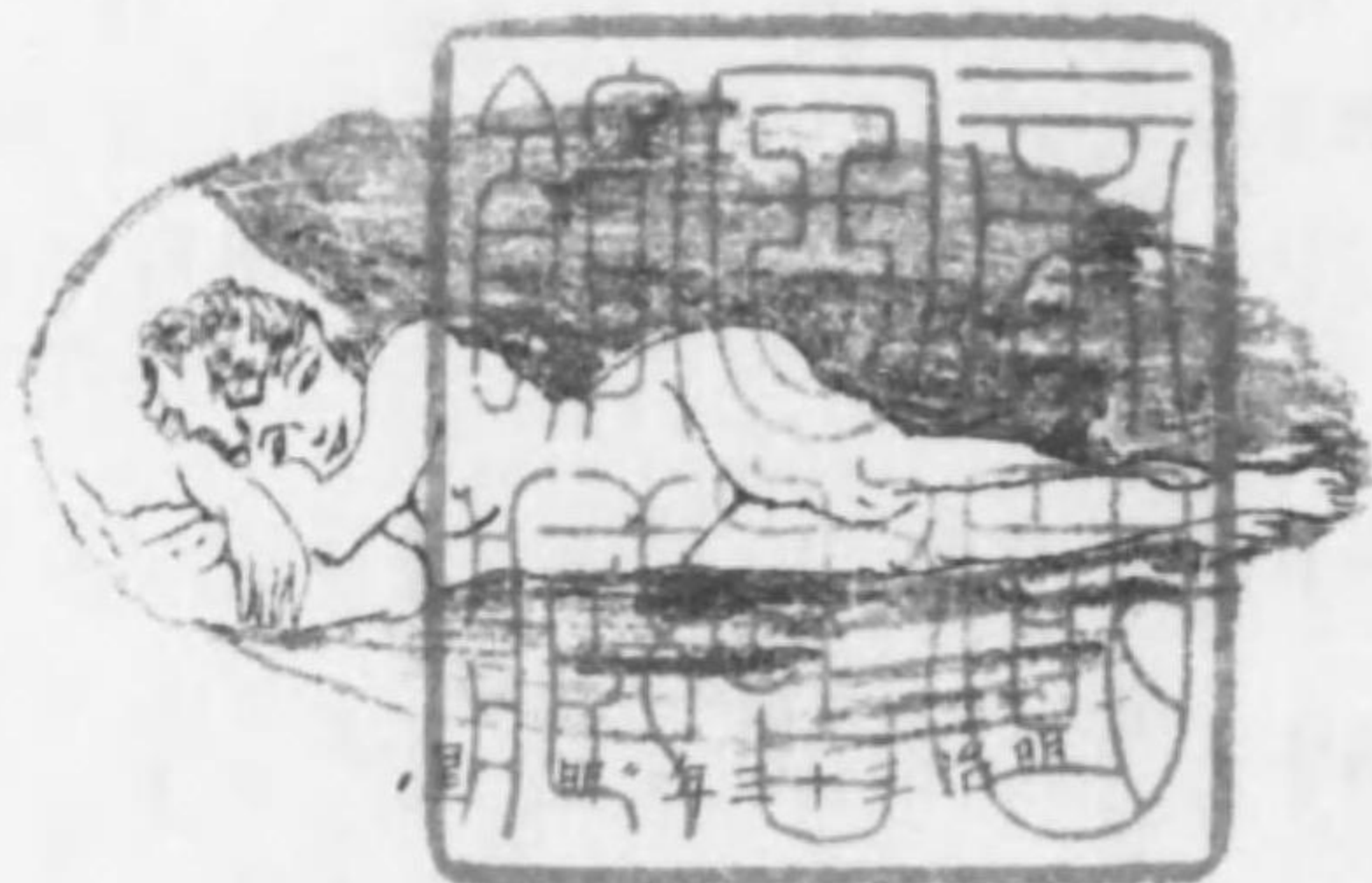


576

302
69

昭大明
和正治

文藝筆禍索引



明治
大正
昭和

文藝筆禍索引



昭和十年三月二十五日印刷
昭和十年三月三十日發行

『いかにの進歩』特刊

編輯印刷
兼發行人

東京市荒川区三河島六ノ五一

磯部 鐵雄

東京市本郷區丸山福山町十三

粹古堂

振替東京七四三五二番

本號に限 金壹圓



明治六年六月五日「大正」新聞、東京版

近世筆禍番附

部の者者(東)					部の肆書版出(西)				
横	大	小	前	同	同	同	同	同	同
綱	関	結	頭	同	同	同	同	同	同
塚	幸徳	宮武	木下	小倉	添田	神長	鷲尾	永井	谷崎
利	外	尚	清三	亞	亞	長	尾	井	崎
水	水	江	三	三	三	三	三	三	三
前	同	同	同	同	同	同	同	同	同
大	小	西	青	正	樋	森	片	秋	岩
杉	山	川	柳	岡	口	田	山	野	野
柴	二	光	有	麗	麗	平	草	女	史
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水	花	小	荒	廣	生	小	田	田	澤
野	鳥	栗	烟	津	田	山	山	山	田
菜	春	風	寒	和	葵	天	花	花	順
舟	子	菜	村	郎	山	外	袋	袋	次
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
羽	内	長	久	尾	足	成	福	加	橋
太	田	田	保	崎	立	島	地	藤	加
鏡	秋	盛	久	欽	柳	柳	源	源	源
治	九	瀨	瀨	北	北	北	北	北	北

蒙御免

行司 白山坊竹醉

明治より大正までを調査
せるもの齊藤氏の現代
筆禍大敵大年来を據る。

元進勸
いかもの趣味社



永洗

多暗鼓

新花六第培登舞美妙存大然每・梓國富永花

明治より
昭和まで
文藝筆禍索引

いかもの趣味特輯號



愛國一夜	明三十一	再取愛情文の琴	（山崎曉三郎）	明三一、五
愛國一夜	明十六、二	嗚呼賣淫國	（正岡愛陽）	明三四、十
愛國一夜	明十八、八	淺草土産	（上下二冊）	明四〇、九
愛國一夜	明二十二	暗流	（江湖八月号北尾花冬）	明四一、八
安全遊戯法	（押見芥八）	安全催眠術	（大學館発行）	明四一、十一
仇枕からむ藤枝	（村松清太郎）	姉の妹	（中央公論風葉）	明四二、六
恨嘆暗	（杉浦松三）	嗚呼祖國	（栗本長實四五集刊）	明四三、九
愛情枕草紙	（山崎曉三郎）	新俗ある金の世の中	（添田平吉）	明四三、九
	明二八、六	俗あきらめ	（読者才号五集録）	明四三、九

ア サ ヒ (第二号、小林卯太郎) 明四三、十
 愛 の 光 (紀念号、吉果湖) 明四三、十
 嗚呼 九年 (小説、堀江定四郎) 明四四、一
 ある女の日記 (飯島大浪) 明四四、一
 逢 (三田文学、江南大三) 明四四、七
 赤い血と銀のナイフ (車前草創刊号、夕柳男) 明四四、九
 暗 関 (青踏、岩野清) 大元、四
 新 しい女 (二三編、山田清吉) 大二、五
 暗黒の社會 (石まつくら草紙) 大二、五
 青 蛙 (人生、後藤彰雨) 大二、六
 新青物づくし悪の文句 (上下二冊) 大二、七
 酒 精 漬 (新潮、加能作次郎) 大二、八
 ある夫婦 (美の飛渡、岸田劉生) 大二、十
 アキレ申候 (林喜二) 大三、一
 姉 と 妹 (假面、永瀬義郎) 大四、五

愛 經 (大隈島三) 自出版 大四、七
 赤 い 壺 (三年二月号) 大四、二
 ア ル ス (二三号、華野) 谷崎潤一郎) 大四五
 新らしき女の手紙 (磯野芳子) 大五、九
 愛 の 花 (島生如山) 大五、十
 愛 と 暴行 (トルストイ、西宮養輔) 大五、十二
 あづまの華 (第一号) 大五、三
 氣儘アリノママ (坂東勝二) 大六、八
 あの方を手に入れるまで (修々閑人) 大七、三
 ある夫婦の生活 (浅草文庫四号) 大七、三
 ある 朝 (新興文藝叢書七編、志賀直哉) 大七、四
 多情愛の手紙 (岩崎菊松) 大七、十二
 蒼白き巢窟 (雄弁、室生犀星) 大九、三
 聰明石心中 (大島春月) 大九、八
 青 い 壺 (第一輯、奥村きみ子) 大十、三

青 天 井 (汎濫、七、五) 大十、五
 嗚呼朝日平吾 (真野貫) 大十一、一
 朝日平吾 (神谷泰治) 大十一、二
 旭河原に涼む二人の男女 (太平果、二、二) 大十一、二
 愛と苦痛の研究 (鷲尾浩訳) 大十一、二
 愛 と 苦 痛 (鷲尾浩訳) 大十一、三
 懊惱の彼岸へ (高津奇章) 大十二、四
 或る小間使の日記 (ミルホ、山根政義訳) 大十二、七
 或る 物 語 (性学叢書第一編) 大十二、七
 或る夜の紐育 (憲政公論四、二) 大十三、二
 あぶなな繪集 (解詠、尾崎久弥) 大十三、三
 青 白 き、 蛇工 (真砂、三、六、村田陸郎) 大十四、六
 アルキバセフ戯曲集 (原白光訳) 春陽堂 大十四、九
 或る警察署長の死 (改定、倉田百三) 大十四、九
 朝日平吾先生の遺書 大十四、十一

赤 列 車 (七月号、十二月号) 大十四、十二
 あをそら (第四号) 大十五、二
 赤い誘惑 (聲、陳七十号、白登、八) 大十五、十
 赤い靈魂 (倉田百三、岩波書店) 大十五、十
 赤 潮 (創刊号) 大十五、十一
 悪 友 (第二号) 大十五、十二
 浅草文庫 (ある天婦の生活) (七見よ) 大十五、十二
 あかつき (不倫の男女) (七見よ) 大十五、十二
 愛する人々 (谷崎潤一郎) 改訂の上許可 大十五、十二
 愛憎一 念 (田村太郎) 昭二、五
 アラビアンナイト (酒井深画) 昭二、五
 浅草裏譚 (石原春洋) 昭二、九
 安全確實産児制限の實際 (石原亮) 昭三、五
 アフロデイト (奇書、異聞、叢書、太田三郎訳) 昭三、七
 愛人秘戯 (竹内直之助訳) 昭三、十二

あ

あ

或る娼婦との経験 (下村千秋) 昭五、三
 愛慾行進曲 (再版共、浅原六朗) 昭五、四
 愛 の 契 (香川四郎治) 昭五、十一
 曙 の 手 紙 (小柄沙枝) 昭五、十一
 アメリカモボモガ性の跳躍 (藤平名智太郎) 昭四、六
 愛慾株式会社 (佐藤六郎) 昭六、十一
 或る人の性愛史 (世界傳奇全集) 昭七、二

【いぬ】

岩見重太郎排退治之圖 (青年画報三枚錦絵) 昭十六
 伊勢鈴鹿の釣天井 (不詳) 昭十四、八
 今浄海六波羅譚 (福島毅太郎) 昭十七、十二
岩見重太郎を浄土に見立てたる故事物語。
 一字 一 派 (齊藤和肉) 昭二、二十
 人情一席ばなし (土井梅吉) 昭二、二十
 一夜の夢 (藤井東洋) 昭二、三六
 人遣色事指南 (山口萬吉) 昭二、三十二
 淫 (新法) (新の花六三郎、藤本藤後) 昭三、四五
いぬだ、みの中の一冊として載せられたもの。
 いろは歌たのしみ草紙 (木村重吉) 昭二、五、四
 一 讀 書 驚 (第一巻、乾民藏) 昭二、六、三
亡國の愛人伊藤博文 (福原謙七)
 遺傳の罪 (秀才文壇) 昭四、二、四
 いぬ、よいい (小松理夫) 昭四、二、五

色事の仕事よふ (大学館發行) 昭四、二、五
 男女色事の心得 (和田庄藏) 昭四、二、五
 エタセクスアリス (スバル、森鷗外) 昭四、二、七
 い ろ (三月号) 昭四、三、三
 有 美 全 集 (春夏二冊、青柳若美) 昭四、四、五
外 (新潮一七、三三) 昭四、四、九
 意 外 (新潮一七、三三) 昭四、四、九
 男一代のたのしみ (四冊、堀田金吾) 大ニ、四
 色 (四月号) 大ニ、四
 いもりの黒焼女殺し (和田庄藏) 大ニ、八
 活人形使用法 (渡山佐吉) 大ニ、八
 異 性 論 (前編、北野北馬) 大ニ、四
 一 隅 (第六集、第七集) 大ニ、六
 遊 樂 画 報 (二年三号) 大四、六
 新遊仙窟、牡丹亭還魂記 (岸春風楼) 大五、六
 一情婦に與つて女房に對する心情を語る (女の世界) 大五、六

異 素 六 帖 (活葉本、第六集、藤武六郎) 大五、八
 一讀大笑おへその宙返り (水谷銀次郎) 大五、十
 逸 著 聞 集 (藤武六郎) 大五、十二
 棘石童丸の歌 (堀田金吾) 大六、四
 入れ墨師の子 (新小説、岩野泡鳴) 大七、六
 淫 祠 と 邪 神 (和田徹城) 大七、七
 伊 勢 神 宮 (山田正賢) 大七、七
 伊 勢 神 宮 () 大七、七
 伊 勢 神 宮 () 大七、七
 一代男画譜 (石川 巖) 大八、七
 一 隅 よ り (加藤一夫) 大九、四
 一青年の手記 (荒川義英) 大九、五
 維新史の教訓 (新社会六、三三) 大九、七
 異 邦 人 (第四号) 大九、十
 醫 風 (臨町後の性慾……) (見見よ)

異邦人の散歩 (河代 倫) 大十三、四
 医科大学民衆医学 (五ノ九号) 大十三、九
 息づまる話 (版二ノ五、福八、欄御子) 大十四、五
 優生 學 (三ノ九号) 大十四、八
 卑しき、を慕ふ心 (新小説、小酒井不木) 大十四、十三
 印度愛經文献考 (原芳環) 昭三、十二
 醫學上より観たる児童の性慾生活 (利、鏡池) 昭三、三
 イルペンタメロイネ (新波鴻之介) 昭四、二
 今様好色五人男 (菊山明敏) 昭四、八
 今様好色五人女 () 昭四、八
 淫蕩時代 (秋山久) 昭五、七

〔う〕

近世内幕話 (粟田信太郎) 明十六、三
 内幕草紙変化書 (秋山萬三郎) 明十六、十二
 恨みの太刀風 (酒井源五郎) 明二五、二
 宇喜余の友 (吉川孫三郎) 明二六、八
 帝園梅曆春告鳥 (博文館) 明二六、八 (明四四、八景)
 海 (三ノ四号) 明三四、九
 うまの春 (巖谷小波、自家版) 明三九、一
 懐疑怨の忠 (後藤、藤原嶺葉) 明四一、六
 苗 杏 (第一号) 大三、七
 珍梅 曆 (木田吉太郎) 大三、七
 梅 曆 (蘇武録郎) 大四、八
 薄 い 髻 (第三号) 長野市 大四、九
 うきよ研究 (大阪版) 大五、二
 移り行く悪 (文藝俱樂部、小山内薫) 大五、四

浮世花鳥風月 (吉橋今四郎) 大五、七
 宇宙問答 (三重縣、不詳) 大六、七
 うきくく (添田燈輝坊) 大七、九
 運命の醜さ (文藝俱樂部、細田民樹) 大八、十
 海坊主の話 (不詳) 大十三、十
 浮氣な清教徒 (藤田草之助) 大十三、十
 美しき、蜘蛛 (地方公論二ノ五号) 大十四、五
 うきよの鏡 (四ノ十二号、高田市) 大十四、十二
 梅 一よみ (宮坂貞雄) 昭三十一
 うきよ手帳 (高木公三) 昭三、六
 浮世小咄 (天藤萬司) 昭三、八
 ウナンの裸体俱樂部 (西谷操) 昭四、三
 浮世繪秘帳 (下巻、園藝社) 昭六、八
 浮世繪秘史 (藤田真次郎) 昭七、五

〔え・え〕

江戸名所 (不詳) 明二七、五
 艶道秘事 (真條桂藏) 明二七、五
 新江戸歌 (大阪版) 明三三、九
 繪業書世界 (第四、五、七、八、九、十、十一、十二号) 明四〇、一四二
 演藝寶典 (伊藤竹野) 明四三、三
 エニグマ (二十月号、九州帝大精神科教室) 大二、二
 艶道秘鑑 (大阪版) 大五、二
 江戸時代文藝資料 (早川純三郎) 大五、七
 江戸八景 (蘇武録郎) 大五、十二
 繪入好色一代男 (二三卷、石川巖) 大六、十
 延命院 (演藝五面、小山内薫) 大七、五
 艶夢録 (不詳) 大七、十一
 妖婦クリニス (萩原厚生) 大十二、三
 狀 象 (星野蘇山) 大十四、六

- 鷲 鷲 譜 (星野蘇山) 大十四十二
- 江原小彌太個人雜誌 (丙午の懐トモ見よ)
- 演劇評論 (接吻トモ見よ)
- 演劇新潮 (骸骨の舞踊トモ見よ)
- 演藝画報 (延命院トモ見よ)
- 狀 (毛唐杖トモ見よ)
- 圓朝全集 (第八卷怪談乳房権) 大十五十
- エルクターブ (原附篇) 昭三二
- 艶説花時雨 (新興社) 昭四五
- 艶道戯文集 (妙色庵主人) 昭五五
- 繪入好色一代男 (八冊、慶應書院) 昭五九
- 大正十五年九月発行のもの。
- 繪入好色一代女 (六冊、慶應書院) 昭五九
- 昭和二年九月発行のもの。
- 繪入好色五人女 (五冊、慶應書院) 昭五九
- 昭和四年八月発行のもの。
- 工口の和歌山 (後藤凡兒) 昭五十一

- 工口工口東京娘百景 (電版はる子) 大十五十二
- 工口工口草紙 (酒井深) 昭五十二



【おを】

- 奥州安達ヶ原一ツ家の圖 (若手面堂三枚巻) 明十八八
- 鬼 嗽 ヲ (宮崎夢柳) 明十八九
- 大津恵ぶし (大阪藤井辰之助) 明二十十二
- 新大笑ひ敷へ唄 (酒井清五郎) 明三二九
- おたのしみ (小川寅松) 明三五三
- 女 郎 花 (岸本順太郎) 明三六四
- おもひ草 (不詳) 明三三十三
- 良人の自白 (四冊、木下尚江) 明三七上
- 端唄大津繪ぶし (大阪、岡本増次郎) 明三八六
- 女 醫 者 (續編新編共三冊、秋聲女史) 明三九六
- お花ばたけ (不詳) 明四一五
- 押付 女 房 (ワリエール全集、中篇、草野紫三) 明四三三
- 女の一代 (田村春水) 明四三二
- 屋上庭園 (第三号、長田赤穂) 明四三二

おを

親と

- 親と 子 (世界大變、神崎沈鐘) 明四三七
- おみ 子 (前篇、水野葉舟) 明四三八
- おん な (ホトトギス、一宮瀧子) 明四三九
- 音曲大津繪ぶし (環吉兵衛) 明四四五
- 悲し乙女の自白 (花鳥蝶子) 大二四
- 女 五 人 (伊藤銀月) 大二五
- 女 と 男 (夏目宣太郎) 大二五
- 雄蝶雌蝶ぶし (浪花いの子) 大二七
- 女の義 務 (橋爪實一) 大二八
- 女に欺かれた男の死 (とりで、大寺村田実) 大二八
- モウハ 女の一生 (廣津和郎) 大三十
- ツサハ 女の一生 (モリッサン、吉岡夕舟) 大三十一
- 吟おやまぶし (池田光風) 大四二
- 華 魁 (アルス、三号、谷崎潤一郎) 大四五
- 大阪落城 (不詳) 大五二

おを



むを

- 女の赤裸々 (醫聖樓主人) 大五、三
- おれは人間変化の蚊 (甲村竹步) 大五、六
- 神祕の女の百態 (内山哲一) 大五、九
- 大笑下女頓智笑談 (三重、水谷銀次郎) 大五、十
- 奥様の衛生 (高波福藏) 大六、三
- 女のはらわち (野元九馬) 大六、八
- 女の急所 (環、丘香) 大八、九
- お千代とその母 (解説、五宮地嘉六) 大八、十
- 大本神諭火の巻 (修齊會出版局) 大九、七
- オペラ (五ノ七月号) 大十、七
- 溺る者 (青山吉郎) 大十、十一
- 車前草 (赤い血と銀のナイフーを見よ) 大十、十二
- 女の世界 (二情婦に與へてーを見よ) 大十、十三
- 面白俱樂部 (呪ひの炎ーを見よ) 大十、十四
- 男 (林、種子) 大十、十五

おを

- オデットとマルティヌ (青山優文三) 昭三、九
- 女のたしなみ (久島鏡雄) 昭三、十一
- 丸んな色事師 (宮本良) 昭四、六
- 歐米女見物 (道家齊一郎) 昭五、九
- 女ばかりの衛生 (長川実雄) 昭五、十二
- 女の匂いと香 (北川草茂) 昭六、六
- 黄金艶魔帳 (運水純) 昭六、七



【か】

- 假皇居之圖 (三枚繪錦繪、著者不詳) 明元、四
- 我樂多珍報 (六号、讀友會、見聞録、狂圖) 明五、二
- 海安寺 (天辰、藤井辰之助) 明三、十一
- かもめ (第二号、北澤道) 明七、二
- 賢のむしろ (三冊、秋谷梅之助) 明八、四
- かむりうた (藤谷鏡藏) 明三、一
- 巖頭の感 (園業書一組) 明三、四
- 向上の一路 (茅原華山) 明三、七、十二
- 傾地鹿軍談 (上中下三冊) 明三、八、四
- 鯉節 (不詳) 明三、九、五
- 佳人の奇遇 (梅の愁、櫻の巻三冊) 明四、一、七
- 我利我利盲者 (添田平吉) 明四、一、八
- 家庭修身新童話本 (木村喜樂軒) 明四、二、一
- 航海奇談 (不詳) 明四、二、三

家庭雜誌

- 陰 (天卷四号) 明四、二、七
- 川俣商況新報 (第十五号、福島縣) 明四、三、十
- かあるべき女 (甲共公論、青柳有美) 大三、一
- かくれんぼ (新讀三、四号、山川亮) 大二、四
- 哀れ易い男、執念深い女 (女界世界、くらなは) 大五、五
- 解謎家庭の和樂 (稲妻文太郎) 著者不詳 大五、五
- かくれ里の記 (藤武緑郎) 大五、十二
- 彼女は何として彼を憎く事を教へたか (西洋画報、露子) 大六、一
- 好色本目録 (若古屋、松田利英) 大六、三
- 川の歌ばらの歌 (米山露花) 大六、十
- 旅がらす (吉野政城) 大六、十二
- 彼女と青年 (黒瀬三、一里見淳) 大七、一
- 可愛い、お方 (井上大花) 大七、十二

神様の恋 (樋口麗陽) 大十、四
 凱 施 (細田民樹) 大十、六
 かげ繪にそひて (新小説室生犀星) 大十、十二
 蒲田秋話肉の冷笑 (瑞瑠子) 大十二、七
 カーマストトラ (泉芽環) 大十二、七
 枯す (人情倶楽部七ノ二、江口福来) 大十三、二
 骸骨の舞踊 (演劇新潮 秋田雨雀) 大十三、四
 街頭に叫ぶ (松原正清) 百景 大十三、四
 蚊帳の中 (世間三月号、永淵熊大) 大十五、三
 カフエーティー (二ノ二号) 大十五、二
 瓦板のはやり唄 (三田村篤魚) 大十五、七
 上方趣味 (飛花落葉一を見よ) 大十五、七
 假面 (柳と蝶一を見よ) 大十五、七
 改造 (或る警察署長の死體一見) 大十五、七
 學生文藝 (静夜一を見よ) 大十五、七

解 放 (お千代と其母、火事と半鐘の關係、高夢屋の女一を見よ) 昭二、三
 神を射るもの (飯田翠華) 昭二、三
 花柳病解剖圖 (富田忠一) 昭三、十
 觀相學與秘傳全集 (上巻、中町哲義) 昭三、十
 神を見るまで (第七巻、田村太郎) 昭四、五
 回春秘談 (國民新聞社會部) 昭四、七
 覺悟 (花房四郎) 昭四、十
 かくし言葉の字引 (初版、宮本光玄) 昭四、十一
 花心學 (曾本繁三郎) 昭四、十二
 觀 珍 帳 (不詳) 昭四、十二
 かくし語辞典 (上、中、黒沢久雄) 昭五、三
 火焰を蹴る (林禮子) 昭五、五
 画譜千一夜物語 (上巻、矢野自源二) 昭五、七
 完全なる夫婦 (平野馨歌) 昭五、十一
 回春秘話 (甲野江漢) 昭五、十二

歡樂の二一夜 (石ガミア夫人、丸木砂土) 昭六、十
 カフエーティーホ (天敏社) 昭六、十

強 弱 論 (江湖新聞十六号、福地櫻痴) 昭六、六
 大久保紀尾井坂事変 (三秋繪錦校) 昭六、五
 音樂世 界 (糸田乙治) 昭二、三、六
 キゲんよし (木村ゆき) 昭二、三、二
 金城甚句節 (五川 廣) 昭二、九、七
 滑稽狂画帖 (東生鏡五郎) 昭三、九、二
 鬼神花之助 (天淵涉) 昭三、二、二
 俗銀笛速成自在 (林甲子太郎) 昭三、三、十
 續帝國脚本傑作集 (上巻、博文館) 昭三、三、十
 舊 主 人 (新小説島崎藤村) 昭三、五、十二
 求 昏 小 説 (山縣操) 昭三、八、五
 飢 渴 (木下尚江) 昭四、〇、九
 虚 柴 (三冊、生田葵山) 昭四、一、一
 基督教と邪淫と悪愛 (石田幽風、伊藤竹軒) 昭四、二、二

寄 寓 秀才文壇廣女作号(明四二八)
 礎 臺 (復本録七) 明四四五
 逆 徒 (太陽、平出修) 大三九
 キ、むすめ論 (春風百雨樓) 大二十
 疑 惑 (新小説近世秋江) 大二十
 極 光 (成瀬無極) 大三七
 黄菊しら菊 (不詳) 大五二
 恐心 怖時代 (中央公論谷崎清一郎) 大五三
 甲子夜話 (蘇武録郎) 大五七
 近代艶隠者 (石川巖) 大五十一
 キ、ね ま (三月号) 大六二
 銀 盞 (第二号) 大八十二
 △極みなき破局 (新小説、細田民橋) 大九四
 △きれくによくい見る夢 (新潮、室生犀星) 大九十九
 △密封驚騰まへき現代貴婦人の裏面 (森屋太郎) 大十二五

狂女由来 (別所様二) 大十三十一
 木 枕 (辻高車第五号、神崎清) 大十四七
 △ギロチン (第一号) 大十四十一
 情史恐怖時代 (藤田洋三) 大十五一
 穢 性 (改題、藤森成吉) 大十五七
 鳴 (生の嘲笑一を見よ)
 蹟 (おくれんぼ一を見よ)
 奇 蹟 (おくれんぼ一を見よ)
 近代思想 (母親の悲愛一を見よ)
 木 太 刀 (筆屋の娘一を見よ)
 聆金瓶 梅 (夏目、山田試) 大十四十二
 金瓶梅と支那の社会状態 (同上、日本第一版) 大十四
 基督教の残産圖譜 (羽塚隆成) 昭四
 柿 典 (小川、勉) 昭四十二
 享樂文藝資料 (福井越人) 昭五十二
 禁慾輪 舞 (志摩浪斗試) 昭五十二

錦博玉房秘抄 (蒐集同志會) 昭六、八
 新清綺談珍聞集大成 (中巻、梅原北明)



【く】
 観音の乳取り (瀧山佐吉) 明三五九
 黄海々戦ニ於ケル松島艦内ノ状況 (木村清彦) 明三二
 花柳の友 (原藤三郎) 明三三一
 荒村遺稿 (百柳武司) 明三八七
 灰 燼 (上司小剣) 明四一六
 曼 樂 (新小説、高崎春月) 明四二七
 歎 野 (永井荷風) 易風社版、明四三九
 荒 宅 (木下尚江) 明四三六
 火 宅 (木下尚江) 明四三六
 國 の 笑 顔 (春文社) 大二三二
 く る ひ (曾崎賢之助) 大二一八
 華街新聞 (四月百発行号) 版草録、大五四
 廓 の 雀 (内容見本) 大五十一
 △皇帝ニコラス (下ルストイ研究三十一、官島新三郎) 大六十一

光 觸 (三田大平、久米澤) 大九、十

火事と半鐘の関係 (解款、澤利彦) 大九、十一

軍人の心理 (天陽、水野廣柱) 大十、一

花柳藝妓身元調へ (浜松きぬぶるい) 大十、十

十人廊女の気性 (瀬戸秀夫) 大十一、二

膚吉の悩み (藤澤木、六月号) 大十四、六

若海三年廊の内幕 (谷川らく) 大十四、十二

黒 髪 (三上於菟吉) 大十五、四

修刺野狂へる毒及 (下、天候、鳴田良治) 大十五、六

花柳界の裏面 (小原信夫) 大十五、九

怪談乳房樓 (圓福全集第八卷) 大十五、十

怪寫眞の真相 (不詳) 大十五、十一

薫 園秘 話 (上森建二郎) 昭三、一

薫 典 (梅木繁雄) 昭四、三

怪奇惨忍性態十話 (小沢清麿) 昭六、二

完全なる性生活 (自由閣) 昭九



【け】

警視官俳優見立 (三枚繪錦紙) 明十

相談藝妓の内幕 (夢外居士) 明十六、十

藝云 伎 双六 (福田熊次郎) 明十六、十二

下宿屋の生娘 (秋續、野村銀次郎) 明三九、二

滑稽 狂 畫 帖 (東生銀五郎) 明三九、十二

藝云 娼妓きぬぶるい (石古屋細見) 明三十一、三

外文 養 養 録 (陸奥宗光) 明三三、三

源氏 節名古屋甚句 (石田惣十郎) 明三三、三

歌 樂 (近藤元) 明四三、三

藝云 者 玉 手 相 (谷澤光吉) 明四三、三

傾城 買 四十八手 (天原、大西英雄) 大ニ、五

藝云 雨 閨 房 餘 戯 (天原、森本直三郎) 大ニ、五

月 下 氷 人 (不二三月号、南方熊楠) 大ニ、十一

閨 房 粹 品 具 目 録 (三重縣、不詳) 大ニ、十

藝者しげ子の半生 (山形サンデー五月十四号) 大四五

劇 と 廓 (創刊号) 大七、二

經濟歴史紙幣標本集 (秋吉善太郎) 大七、六

藝者 哲 學 (青木録園) 大七、七

拳 鏡 (少年俱樂部、田中宗三郎) 大十二、七

外道 三 昧 (足立欽一) 大十二、三

結 婚 愛 (初版、マリ、ストラス、矢口蓮) 大十三、三

毛 唐 紋 し (秋原、第二輯) 大十四、六

閨 丹 術 (井上紅梅) 大十四、十一

荆 人 の 群 (鳥川白虹) 大十五、二

原 始 經 (塩野房次郎) 大十五、五

辨 幻 想 曲 (武田秋郎) 大十五、七

憲 政 公 論 (武原、夜の組、青一を見よ) 大十五、七

現 代 (泉の騷、藤王一を見よ) 昭三、五

藝術と現はれたる性慾 (村上和藏) 昭三、五

結昏初夜の新智識 (三森藤田純) 昭三、九
 現代遊姓術の趨勢 (田中喜志三) 昭三、十
 閨房夜話 (高波義一) 昭四、一
 刑罰及愛態性慾寫真集 (神沢沢介) 昭五、三
 月経閉止と獨乙式通經器に就て (宮川光手) 昭五、五
 結昏 (矢口達、アルス版) 昭五、九
 閨房二十日物語 (大治堂) 昭七、二
 閨房秘話 (朝倉駿一) 昭七、十
 性和激情の嵐 (山村正美) 昭九



五人儼苦魔物語 (金元新章及紙柳水多鐘清) 昭十三、三
 春雨恋の濡衣 (春陽堂刊) 昭十七、二
 清誓面白草紙 (島津松五郎) 昭二十五、十一
 憎小紋帳 (三森不詳) 昭二十七、五
 情女恋路のかけはし (山崎晴太郎) 昭二十八、一
 恋の淡 (不詳) 昭三十三、十
 紅裾隊 (田島操) 昭三十六、四
 恋の研究 (山本完義) 昭三十六、七
 これでも女小 (正岡善陽) 昭三十六、十二
 壺中我觀 (小杉操) 昭三十八、三
 五大力恋の柵 (三森不詳) 昭三十八、四
 壺中觀 (小林康) 昭三十八、四
 滑稽大学より見たる幕末史 (櫻井章) 昭三十八、七
 恋ざめ (小東風葉) 昭四一、四

【二】

乞食 (木下尚江) 昭四、七 (昭四三九號)
 恋の初旅 (上下三森、矢野勇吉) 昭四、二
 戀士の恋と恋 (山本高猶) 昭四、十三
 婚約 (香才大壇、米川正志) 大六、七
 子下から (森桂園) 大六、八
 戀衣花笠笠木林 (三田文雄、永井荷風) 注意、大六、三
 恋になやみし乙女の自白 (花島春子) 大六、六
 小間使と若旦那 (新思潮、泰豊堂) 大六、六
 獄中の女より男へ (青踏五、六、原田皇月) 大四、六
 坑夫 (官島資天) 大五、一
 小守事件の真相 (福島一) 大五、三
 娼婦の秘訣 (紅葉祥人) 大五、三
 御神燈 (六月号、京都発行) 大五、六
 戀の世の中 (金龍道人) 大五、九
 新紅夢樓 (岸春風樓) 大五、

後家氣質男色鑑 (斎場駿) 大六、三
 小菊の話 (星座了五、木村幹) 大六、五
 恋の犯罪 (文章世界、豊島操) 大七、十
 駒鳥の死 (木村幹) 大八、三
 腰辨受難の秋 (上田一也) 大八、八
 現代恋時雨 (岸山春風) 大九、四
 恋の前科者 (芳川赴) 大九、九
 公木雜記 (國民文學八九号、松村英) 大十一、一
 誠恋の勇者 (永見徳太郎) 大十三、四
 この罪を見よ (中西伊之助) 大十四、九
 戀を弄ぶ女 (世間二十号、坂井康夫) 本四、土
 戀の驕猿王 (現代、笹野雪彦) 本四、土
 江潮 (暗流一見見よ)
 黒潮 (後女と青年一見見よ)
 國民文學 (公木雜記一見見よ)

講談と小説	(新編の及清境、女優の安賣)	昭三、六
戀	百態 (河森茅花)	昭三、六
戀	百感 (林元吉)	昭三、六
戀の百面相	(天木繁三)	昭三、三
古代珍聞集	(谷口好古)	昭三、六
紅唇	双紙 (附其端妓語、吉百秋美)	昭三、七
好色家列傳	(寺村正天)	昭三、十
孔養華編	(矢部三郎)	昭三、十二
小唄讀本	(三浦荒二)	昭四、四
悪苗狂蝶新話	(日蓮書院)	昭四、七
悪の辻占都々逸占ひ	(但羅研究會)	昭四、九
古今珍籍全集	(二一六卷)	昭五、四
紅唇	(板玉舟)	昭五、四
國際惡愛觀樂境本牧ホテル	(小川春輔)	昭五、十二
紅燈春秋	(四月号)	昭六、四

好色戯れ草	(蒐集同好會)	昭六、八
好色風俗資料講座	第三卷 風俗資料刊行會	昭七、五
好色見世物志	(松浦泉三郎)	昭七、九

【ヤ】

造花玉手箱	(山野重徳)	昭十三、三
優勝猿の裁判	(井上勲)	昭二、十二
三人妻	(讀賣新聞、紅葉山人)	昭二、五、三
晒し井	(中村花度)	昭二、五、十一
座敷なぐさみなぞつくし	(和田庄義)	昭二、七、二
帝國西鶴全集	(三冊、博文館)	昭二、七、五
訂西鶴名著集	(上巻、博文館)	昭三、六、八
早蕨	(四巻、第四輯)	昭三、八、七
懺悔	(木下尚江)	昭三、九、十二
妻君の自白	(宮崎清彦)	昭四、二、一
沙漠	(黒瀬春吉)	昭四、三、七
三十八年	(日本新聞、佐藤紅緑)	昭四、四、八
創造	(木下尚江)	大元、二
産婆看護婦新報	(第三号)	大三、三

サツホ	(森田草平)	大三、八
かほめ西相記	(中村星湖)	大三、十
相対	(小倉清三郎)	大五、
小夜時雨	(蘇武緑郎)	大五、十二
新西廂記	(岸春風樓)	大五、
やとの花	(石花柳界の玉手箱)	大六、一
やすらひの唄	(自秋原作、暁月改作)	大七、九
象の鼻	(よば六)	大八、七
財産奉還論	(遠藤辰水)	大八、十
細見辰巳乃里	(西館花街史)	大八、十一
殺人會社	(梅原北晴)	大十三、十一
重刊山河草木成の巻	(山口瑞月)	大十四、十一
サア二	(アルシム、原田譲)	大十四、十二
懺悔	(巻の下、原場駿)	大十五、六
辯彷徨るる奇蹟の神々	(田中清二)	大十五、六

ザンデー 毎日 (購者歌者一巻五十一)

西 鶴 全集 (日本古典全集土、十四巻) 昭三、五

最新性の研究 (羽太銳治) 昭三、一

最近の妊娠調節 (柳龍亮) 昭三、六

最新家庭醫學 (第一、二巻、佐分利吉) 昭四、五

サ 一、二、ン (下巻、中村白葉) 昭四、八

西鶴研究資料 (不詳) 昭四、九

産兒調節の實際 (尾達三郎) 昭五、二

【し】

娼妓の切賣リ (瀧山佐吉) 明二五、九

忍びびごま (櫻井淡二郎) 明二六、五

娼藝妓讀本 (山田玄山) 明二六、十二

娼物照魔鏡 (前張敬四郎) 明二七、三

娼 婦 論 (左司吉次郎) 明二七、六

下 之 閑 (第一号、村岡政吉) 明二七、十一

色 道 論 (新書月刊三巻、香齋齋齋齋) 明三〇、五

色 道 原 論 (川上直人) 明三一、九

新 潮 (續漢版三九号) 明三一、十二

新作花柳の友 (須藤善三郎) 明三二、一

人生の惨劇 (青年の福音三巻、自由原秋明三三)

新恋愛文學 (香柳有美) 明三四、三

社會主義詩集 (兒玉花外) 明三六、九

社會改良實論 (小栗貞雄) 明三六、十

淨瑠璃と文藝 (四巻十号) 明三七、十一

色情と青年 (原真男) 明三九、十

七花八裂 (杉村楚人) 明四一、一

色情的犯罪 (田中祐吉) 明四一、一

人體美論 (川崎安) 明四一、三

小説新金色夜叉 (藤原嶺葉) 明四三、三

祝 盃 (甲兵公論、永井荷風) 明四三、五

諸國童謡大全 (童謡研究会) 明四三、九

深 淵 (新小説、早稲夢) 明四三、十

處 女 (新潮、野口春影) 明四三、十一

心 靈 私 語 (赤司繁太郎) 明四三、七

新 想 夫 憐 (影法師) 明四四、二

新時代の道徳 (正岡愛陽) 明四四、四

七 擒 八 從 (中野新堂) 大三、五

淫風色欲心世界 (夏目宣太郎) 大三、五

師匠の娘 (新小説、長田静庵) 大二、六

七人の戀 (種松美佐男) 大二、六

新流行行歌 (二、三巻、神長暉月) 大三、二

三時雨夜話 (小林萬治) 大三、四

下 繪 (天響一ノ号、森田草平) 大三、六

志 良 菊 (袖と袖改題) 大三、十一

式部墮落の果 (三冊、大島秋月) 大三、十二

祝 盃 (永井荷風、俳諧堂刊) 大四、七

春光の下に (ピポヘミアン、ハラスの人々、三上於菟吉) 大四、八

賤のおだまき、(若林姫路) 大五、二

滑シクジリ文士 (青木緑園) 大五、五

諸國廓巡禮 (柳原煙花) 大五、六

七里ヶ濱の哀歌 (武石一羊) 大五、六

春 恋 秘 辭 (石川 巖) 大五、十二

新よし原細見 (和田左義) 大五、十二

處 女 (文庫世界、相馬泰三) 大六、一
 下諏訪の花多津の柳 (青木今朝義) 大六、三
 桂原巡査さんと車掌さん (松本晴雨) 大六、三
 信 濃 の 花 (林香洋) 大六、八
 人心收攬術 (元清一) 大六、九
 忍 ぶ 夜 (新日本七、近松秋江) 大六、十二
 色情犯罪論 (目下所吉) 大七、二
 素人の女と黒人の女 (木下榮三郎) 大七、三
 新開町の一小事件 (塵沙四月号) 大七、四
 万葉子孫種蒔胎教 (村田長兵衛) 大七、七
 新 藝 者 論 (村田雲梯) 大七、八
 諸國の藝者さん (讀武所、川崎屋ぼんた) 大八、八
 處女の爲めに (澤田順次郎) 大九、一
 色魔より見たる女の翳占 (密封叢書第一編) 大九、十
 人世の暗黒裡 (主婦の友、高橋照葉) 大九、二

思出新婚の夜 (岡田輝國) 大十三、六
 情緒と想念 (新興二ノ号、萩原輝太郎) 大十三、二
 新東京繁昌記 (初版、水島南保布) 大十三、四
 新橋の丑瀟頃 (讀談と小説、中井天聲) 大十三、四
 娼婦の接客状況 (異タイム大第三号) 大十三、九
 情話の神戸 (二の三号) 大十三、十
 處 女 の 門 (十夜愛夜) 大十四、三
 宿 命 (東洋三八年五号、長谷川若江) 大十四、五
 獸 性 (アルツイ、ハアシエフ、佐野英敏) 大十四、九
 支那宮廷秘録 (龍田桃川) 大十四、十
 支那性慾小説 (一) 大十四、十二
 支那に歸る人 (井上達) 大十四、十三
 邪 淫 戒 (初版、北川智聖) 大十五、十
 リンケジヤングレ (前田河廣一) 大十四、十三
 洒落本新釋 (山崎麓) 大十五、三

姑殺し怨みの五寸釘 (湯沢金吾) 大十五、五
 自叙 姿 姿 (政上佐太郎) 大十五、十
 神 人 記 (江原小齋) 大十五、十一
 勝者敗者 (テヂ、昔小説と講談号、甲賀屋) 大十五、十二
 新 小 説 (八れ墨師の子、草一しき、を更か、心、かけ線にそひて、舊主人、疑、惑、日雲、深淵、師匠の娘、七、夜、夢の道鏡花水月、離燈、の道一を見よ) 大十五、十二
 新 潮 (酒糟漬、昔外、きれかく、下よ、く見る夢、處女一を見よ) 大十五、十二
 信 天 翁 (半世紀前の話一を見よ) 大十五、十二
 處 女 (末七人一を見よ) 大十五、十二
 秀才文壇 (新編、婚約、舞踏會の後、遺傳の罪一を見よ) 大十五、十二
 新 思 潮 (小回便と若旦那一を見よ) 大十五、十二
 人 生 (春一を見よ) 大十五、十二
 白 樺 (誰でも知っている、ルクレシア一を見よ) 大十五、十二
 淑女画像報 (貞操に對する疑一を見よ) 大十五、十二

新 文 藝 (破壊の前一を見よ) 大十五、五
 新 著 月 刊 (色道論一を見よ) 大十五、十
 新 日 本 (忍が放一を見よ) 大十五、十二
 塵 勞 (新開町の一小事件一を見よ) 大十五、十二
 主婦の友 (人生の暗黒記一を見よ) 大十五、十二
 洒落本集 (第一卷、平山島) 昭三、九
 新撰西鶴全集 (石川 巖) 昭三、十一
 人 生 論 (讀英三冊、谷口好古) 昭三、三
 後胎調節実行方法 (不詳) 昭三、三
 時 雨 文 庫 (中村新太郎) 昭三、四
 死 の 誓 (四冊、庄野美信) 昭三、七
 女 性 典 (赤津誠内) 昭三、七
 處女時代の性慾 (性慾叢書) 昭三、七
 人 類 記 (谷口好古) 昭三、八
 宗教と性 (瀧本三郎訳) 昭三、十

人肉解剖(性の扉) (留永英三郎) 昭三、十
 時代を作る人々 (前橋、真田勇) 昭三、十二
 情 艶 (小松みどり) 昭三、十二
 人類秘事考 (佐藤紅霞) 昭四、二
 春 窓 情 史 (御城 泉) 昭四、三
 支那近代情痴情史 (佐藤龍三) 昭四、六
 上海獵奇 (獵奇病者の手記) (三波龍吉) 昭四、七
 珠 林 奇 縁 (文藝市場社) 昭四、九
 情 海 奇 縁 (甲野正人) 昭五、四
 處 女 解 剖 (春海 菫) 昭五、八
 女 給 日 記 (初版、木谷絹子) 昭五、十一
 情 怨 暴 露 (磯部真壽造) 昭五、十一
 娼婦と暮して一ヶ月 (初版、松尾邦之助) 昭五、十一
 女優の赤裸や舌線線異状あり (火輪工口装書) 昭五、十二
 趣味の生体科学 (竹村文祥) 昭五、十二

春 宵 情 史 (採菊 友) 昭七、二
 女魔の怪窟 (墨堤 隆士) 昭七、十一
 人類性風俗史 (雨沢十七郎) 昭八、五
 新 春 宮 美 学 (小林定吉) 昭八、七
 實話ビルディング (日本書院) 昭八、
 人類變電所 (重江 堂) 昭九、
 新 女 性 觀 (金文 堂) 昭九、
 白 い 戦 線 (川崎 久敏) 昭九、

【す】

新吉原 杉戸屋七人斬 (岡田園三秋繪録) 昭三、八
 貸産 櫻 花 (天康社) 大ニ、二
 柳 紅 粹 文 學 (大阪、夏目宣太郎) 大ニ、五
 洲 崎 遊 廓 業 内 (遊廓三十八年記念) 大五、十一
 洲 崎 細 見 (金谷利四郎) 大五、十二
 遊女評伝 粹 世界 (所若松野原秋葉甲肝料理店) 大六、十
 大 人 小 人 (平タセクスアリス魔) 大六、十
 水 沫 (吐息—を見よ)

未 摘 花 難 何 註 解 (澤田五猪鹿) 大十二、
 ス タ ー 秘 話 (老日 漢水) 昭二、七
 素 裸 の 自 画 像 (鷹 野 司) 昭四、五
 未 摘 花 秘 話 (佐藤龍三) 昭四、十

【七】

- 世界不轉覆論 (矢野龍溪) 明三十一
- 錢占意氣奈好此 (矢野龍溪) 明三十一
- 傳物照魔鏡 (前原謙四郎) 明三十三
- 戦争唱歌 (今関栄蔵) 明三十六
- 静夜 (學生文藝ノ三、京村子) 明三十三
- 現代絶版圖書展覧會目錄 (啓武外層) 明四十五
- 赤裸の人 (塚利彦) 大元、一
- 接吻 (演劇評論 伊藤孝) 大元、四
- 性慾哲學 (香柳有美) 大元、二
- 是乎悲乎 (野波十敏) 大元、二
- 時雨夜話 (小林篤志) 大元、四
- 生の嘲笑 (天鳴十月号、齊藤正雄) 大元、十
- 小ワイニングル (假面五月号、松永信) 大元、五
- 性慾と催眠術 (田宮馨) 大元、八

- 世界世界のウーマン (相南源郎) 大元、十
- 性的現象及生理 (田中 琳) 大元、六
- 青春の頃 (藤本夏季、新刊号、泡鳴) 大元、七
- 最新製紙女子の歌 (若田輝輝) 大元、八
- 生の反逆 (民衆の藝術ノ四、田中健人) 大元、十
- 清少大納言 (高橋格堂) 大元、十二
- 生殖腺神の研究 (横山流星) 大元、一
- 青春の悩み (銀丘第二創作集) 大元、一、四
- 生殖腺崇拜話集成 (天保盛元) 大元、一、一
- 生殖腺崇拜と基督教 (藤本三郎) 大元、一、八
- 全譯結管度の研究 (マリノスト、文、畑道隆) 大元、一、四
- 性教育と花柳病 (井上寛治) 大元、一、四
- 川柳猫と鮫 (矢井勇助) 大元、一、七
- 青踏 (暗闇、獄中の女より男へ、婦人問題の解決、世の婦人達ノ一) 大元、一、一

- 小説倶楽部 (厚鏡一を見よ)
- 星 座 (小菊の語一を見よ)
- 青年の福音 (人生の修削一を見よ)
- 青年文藝 (人妻の手紙一を見よ)
- 青年 (夜一を見よ)
- 世界文藝 (麗と子一を見よ)
- 性 文 學 (密語一を見よ)
- 生 活 (浴せる女の都一を見よ)
- 西 洋 画 報 (彼女は何処に居て一を見よ)
- 世 間 (戦艦の中、恋を弄ぶ女、地上の春、童貞を捨てる一を見よ)
- 性 鑑 (前太鏡治) 昭三十一
- 性 園 (真田耕一) 昭三十一
- 川柳悪態性慾志 (佐藤紅霞) 昭三十二
- 川柳狂歌集 (近代日本大学大系) 昭三、二
- 性的俚談辭典 (向山 繁) 昭三、三

- 性の苦惱と暗黒の性話 (福島正憲) 昭三、六
- 性の公開 (田中政治) 昭三、七
- 責 の 話 (伊藤晴雨) 昭三、七
- 接吻百態 (田中久面) 昭四、一
- 接吻の歴史と技巧 (小林善八) 昭四、一
- 世界好色文學史 (三冊、文芸市場) 昭四、一
- 性の心理 (軍深熊二) 昭四、四
- 性的犯罪自物語 (核村三四郎) 昭四、七
- 全國遊廓業内 (日本遊覧社) 昭五、七
- 接吻 (益川亞輝) 昭五、七
- 尖端工口萬歳 (日吉堂) 昭五、十一
- 性愛の神秘 (近藤大男) 昭六、一
- 尖端獵奇場 (富山三郎) 昭六、十
- 世界廢室の神秘 (前 池 明) 昭七、八
- 性慾科學大系 (中巻、武俠社) 昭八、

【モ】

それでも女か (正岡愛陽) 明三六十一
 側面觀幕末史 (櫻井 章) 明三八九
 袖 と 袖 (芭蕉庄之助) 大六十一
 蕎麥屋の女 (解放四、伊藤憲) 大十四十
 俗つれく草 (聖林會) 昭三、九
 ゴ ラ 集 (天草全集、中央出版社) 昭三、十
 それを敢てした女 (中央公論社) 昭八、

【タ】

男女交合得失問答 (三藏、藤原徳勝) 明十五、五
 太平子介候兵 (神保と三) 明二三、三
 不正 大 砲 (甲田龍島) 明二三大
 男女履物語 (甲村茂吉) 明三三十二
 大 恥 辱 (那の花) 六十号一、六十号二
 山田美妙 明四
 第二維新と基督教 (福永文之助) 明三七、十
 道外賢の入獄 (西田夏彦) 明三〇、十
 當世水滸傳 (下巻、不詳) 明三六、八
 男女關係の進化 (瑛利友) 明四一、五
 大 犯罪 志 (二名教人考之研究) 明四三、八
 家庭男爵對夫人 (わらび山人) 明四四、六
 續 男 女 賢 典 (相馬藩吉伊藤竹醉刊) 明四四、七
 右は発行約二年の後、藤野末光閣の手へ譲渡して
 から発集となる。
 玉のや、かづき、(玉陽會出版、鎌倉文庫) 大元、三

濁

血

男女小 觀 (西田愛之助) 大二、五
 男女の色敵 (平塚 平) 大二、八
 男女機械のわけ (味岡弥助) 大二、八
 男女の生活 (海野幸徳) 大三、十
 大日本裏面史 (初版種口麗陽) 大四、四
 寶 の 入 舟 (上巻、藤武乾三) 大五、十二
 男 色 大 鑑 (石川 巖) 大六、一
 ダンテ神曲「地獄篇」(中山昌樹) 大六、一
 誰でも知つてゐる (白樺、長與善郎) 大六、八
 玉 く し げ (三篇、飯島花月) 大六、十二
 旅 が ら す (吉野臥城) 大六、十二
 太陽崇拜 (長岡慶子) 大八、十一
 男女の正体 (辨學山人) 大九、一
 大犯罪人の研究 (小田 律) 大九、二

天下

天下探偵の苦心談 (井上龍吉) 大十一、一
 大正むさしあふみ (山村耕花) 大十三、三
 太陽は輝きたり (倉田一郎) 大十三、六
 通 男 女 性 の 秘 鏡 (石岡美枝子) 大十三、七
 竹内、式人間製造術 (竹内包三郎) 大十四、十一
 大 生 殖 宗 (天保登元) 大十四、十二
 第二の接吻 (初版、菊池寛) 大十四、十三
 男 犯 (武野燦介) 大十四、十三
 大 魔 王 (文學界三ノ一号、伊藤憲) 大十五、三
 煙草御遠慮 (島中雄三) 大十五、三
 大惨劇龍野の六人殺 (湯浅余策) 大十五、五
 大 學 評 論 (三種の微笑一を見よ)
 大 陽 (逆徒、軍人の心理一を見よ)
 田中秘田美人案内 (藤崎萬亀江) 昭二、十二
 談 性 (佐藤紅霞) 昭三、四

男 色 考 (花房四郎) 昭三、十
 耽 奇 撰 談 (田中香津) 昭四、九
 當 世 春 女 冥 利 (小川隼二) 昭四、十
 ダ、ン、サ、ー (日本小説文庫、春陽堂) 昭八、

珍 々 集 (第一編 小笠原書房) 昭十六、十
 女 学 雜 誌 (岩本善治) 昭二〇、五
 上流社会の淫蕩生活を暴つて披露したため五月廿四日より
 六月三十日まで筆禍を受けた。
 張 嬪 (朝鮮宮中物語、福地櫻痴) 昭三七、三
 の 美 中 珍 美 人 (甲島萬吉) 昭三三、九
 女 優 ナ ナ (永井荷風) 昭三六、九
 永井氏の「ナナ」は筆禍の有無不明なり、讀者の赦へも
 俟つ。
 西 藏 品 圖 録 (河日繁海) 昭三七、三
 俣 唄 中 に 性 を 表 載 せ る も の あ り て 筆 禍 を 受 け ぬ。
 總 發 女 學 士 (不詳) 昭四〇、五
 小 さ き 筆 (杉原雅園) 昭四三、三
 長 廣 舌 (高島米峰) 昭四三、九
 女 優 ナ ナ (木間久雄) 大六、七
 千 種 花 二 羽 蝶 々 (花柳天五郎) 大六、一

女 學 校 の 裏 面 (露花山人) 大五、九
 上 (第二部、島田清次郎) 大九、一
 女 優 の 安 賣 (讀 談 と 小 説 五 月 号、寒 川 天 骨) 大十三、五
 地 上 に 現 る も の (早稲田大學、小島晶) 大十四、九
 女 優 ナ ナ (柳田紫野) 大十四、十二
 地 上 の 春 蠶 (世阿弥六郎、柳田紫野) 大十五、六
 中 央 公 論 (姉の妹、かくあつたべき女、野村
 時代、極みむす破局、祝五、
 離僧、演台一を見よ)
 女 子 文 壇 (瀧血一を見よ)
 女 學 世 界 (美り易い男一を見よ)
 地 方 公 論 (美しき蜘蛛一を見よ)
 地 方 行 政 (燃え立つ心一を見よ)
 中 學 世 界 (陰一を見よ)
 女 優 ナ ナ (面状保神) 昭二、八
 ナヤムとモーシヨンのかけ方(有太鏡池) 昭三、七

帳 中 秘 語 (笑大、富田正夫) 昭三、七
 寵 姬 (第一巻、西村新) 昭五、九
 女 性 の 敵 (中央公論社) 昭九、



【フ】

月の舟 (不詳) 昭三七、五
 通俗心理哲學 (眞條雅義) 昭三七、六
 橋 (萬朝報長田政清記) 昭三四
 通俗道妓傳 (三冊、不詳) 昭三八、四
 艶物語 (不詳) 大五、十二
 辯月に吠える (萩原研太郎) 大六、二
 土の叫び地の囁き (和藤一夫) 大六、十一
 妻にすするまで (天阪成達堂) 大八、二
 罪に立つ (初版、細田源吉) 大十一、一
 づ (三ノ大号、岡山発行) 大十三、九
 罪の子となるまで (前田誠孝) 大十四、三
 辻馬車 (木枕を見よ)

【て】

午、無 娘 (東京新報、桑野鐵) 昭十四
 天福六家選 (原胤昭) 昭十六、二
 滑管鐵砲之助 (鳥井正之助) 昭二七、五
 帝國公園園 (瀧川洲) 昭三二、十二
 朝思暮思 (和藤咄堂) 昭三九、三
 天風魔帆 (兒玉花外) 昭四〇、二
 轉國産右之銘 (采林友平) 昭四三、八
 鐵想朝思暮思 (和藤咄堂) 昭四三、九
 鐵火石火 (白柳秀彌) 昭四三、十二
 電 (備身、倉富砂郎) 大元、七
 貞操に對する疑心 (淑女面談、櫻野晶子) 大四、十二
 蝶花形運理の柵 (不詳) 大五、三
 デカメロン (宇川秋骨、十日物語、見よ)
 デカメロン (上巻、大澤貞義) 大十二、四

【ト】

貞操は死を以て争ふべきか (倫理諸論集、第一一
 号、秋元清) 大八、五
 朝鮮亡國演義 (上海、世界書局) 大十、九
 全デカメロン (下巻初版、梅原北明) 大十四、十
 帝國文庫 (藤野一も見よ)
 天國の花 (松岡莊主人) 昭六、七

東京新繁昌記 (五冊、藤野誠二) 昭八、四
 宿意突天漢 (木田夏次郎) 昭二二、一
 頓智協會雜誌 (第三八号、武外厚) 昭二二、二
 蜥蜴の黒燒 (渡山佐吉) 昭二二、十二
 警天東洋の大策士 (近藤壽平) 昭二六、一
 飛艇 乘太郎 (村井秋葉の偽作本) 昭三〇、七
 都 會 (文藝俱樂部、生田崑山) 昭四二、二
 東京の裏面 (黒白道人) 昭四三、十二
 東京の色 (柴田流星) 昭四四、五
 東京の女 (柴田流星) 昭四四、九
 吐息 (永沫、等、佐藤露江) 大元、九
 ホッパ十日物語 (宇川秋骨) 大五、二
 動物交尾の話 (藤野主人) 大五、四
 豊橋の花 (野口利吉) 大五、十二

【ト】

日本娘の評判 (野田東三次郎) 明十五、五
 西洋血潮小暴風 (シエマ、櫻田百衛) 明十五、十二
 日本の花嫁 (東本長實) 明二十六、十
 肉 布 團 (大阪、庄司吉次郎) 明二十七、五
 必敗日本益荒雄の凱歌 (峯村源助) 明二十七、九
 姓 娘 自 在 法 (上島 正) 明三十七、十二
 日本と基督教 (若井 太平) 明三八、五
 水 前田 曙山) 明三六、三
 日露戦争とニライ教會 (今村金次郎) 明三七、四
 日本歴史画報 (第十号、不詳) 明三七、八
 人間發生の歴史 (博利友) 明四〇、十一
 藤 依 紫田舎源氏 (二、三巻、吉川弘文館) 明四二、三
 二 人 畫 工 (内田魯庵) 明四二、十二
 新潟繁昌記 (第二、四九号、新潟發行) 明四三、十二

【ト】

日本大紀念寫真帖 (秋好善太郎) 大元十二
 明治初年の死刑・露國皇太子遭難・日清日露
 戦役我軍戦死者の空軍揚揚に依る。
 淫風肉慾世界 (天西小波) 大十二、五
 乳 街 (第三号、山台發行) 大四、十二
 人間の夜 (文章、中村星湖) 大五、一
 人魚の嘆き (谷崎潤一郎、春陽堂版) 大六、五
 新潟美人帖 (垣原正人) 大十一、六
 日本婦人しつかりおしよ (日本實業堂) 大十二、五
 肉 彈 (第四号、神奈川縣發行) 大十三、八
 人間の巢 (井東 蕙) 大十三、四
 二人の異端者 (佐々木味津三) 大十三、十
 二種の微笑 (大星評、五、江口漢) 大六、五
 人情俱樂部 (貧民窟の女と恋、柘木、手一
 右見よ)
 人間研究 (天野 卓) 昭三、三
 日本十日物語 (初版、河原吉吉) 昭三、六

【ト】

日本小説集 (昭和四年版、大蔵家校會) 昭四、五
 日本性的風俗辞典 (初版、佐藤紅霞) 昭四、六
 肉体の悪魔 (波達天鼓) 昭五、五
 姓 娘 秘 訣 集 (長連ゆき子) 昭五、六
 日本艶本解題 (第一、三輯、河原高吉) 昭六、四
 日本歡樂郷業内 (初版、酒井潔) 昭六、四
 肉 刊 譜 (坂ノ上言次) 昭八、九

【ト】

寝くたれ髪 (天測 涉) 明三三、六
 寝 白 粉 (文藝俱樂部、風堂) 明三〇、九
 轢 観 ね や の な か だ ち (不 詳) 明四〇、八
 若々熱情の手紙 (中西悟堂) 大七、十二
 ネオデカメロン (夏圭次) 昭六、八

【の】

後の月かげ (春陽堂漢唐義撰出版) 明三四
線前作「酒の上」を削除の上頒布す。
 のろけ箱 (奥村金次郎) 明三五、十
 のんき (岸七海) 明三七、十一
 野の聲 (二巻一号) 明三九、一
 のろけ箱 (天竺俱摩部大愚情史) 明九、八
 呪ひの炎 (面白倶摩部、島谷鶴子) 大十三、九
 呪のバスケツト (快屠、首無美人) 大十四、八
 ラゾ野 (権右其三) 大十四、十二

【は】

春霞浮名の立川 (徳入時草新報、官武外骨) 明七
 三遊廊花づくし (堀部陸) 明二四、十
色見録
 清習鼻毛よむ人 (頼山左吉) 明二五、九
 花ばたけ (西村芳次郎) 明二七、一
 花の遊び (不詳) 明二七、五
 花の色わけ (真狂子) 明二七、十二
 馬関事件アトセふし (佐野金之助) 明二八、四
 一驚抱腹鏡倒詩 (青柳潤一郎) 明二八、十
 以心破類微笑 (原田静馬) 明三三、七
 煩悶 (記(藤村操遺稿、若本繁雄編)) 明四〇、五
 ゴラバ (里(後屠、飯田漢野)) 明四一、五
 萬物の同根一族 (埒刊表) 明四一、七
 媒介者 (東重文彦、徳田秋聲) 明四二、四
 破壊の前 (新文藝、水島前保布) 明四三、五

墓

場 (木下前江) 明四三、九
 舶来乞食 (原霞外) 明四三、十二
 發展 (岩野泡鳴) 大元、八
 伯爵夫人 (浅倉三有) 大元、十一
新体詩
俗歌集
 花のおもかげ (天の巻、渡辺蓮武) 大三、九
 春告鳥 (藤武練野) 大四、九
 春雨 (右夜の伏果、内山書二) 大四、十一
 母親の悲哀 (近代思想、菅野麗子) 大五、一
 亡友 (新小説、谷崎潤一郎) 大五、九
 花がたみ (北海堂、藤野桐見) 大五、十一
 裸百貫 (飯塚亦吉) 大五、十一
 花くらべ内よ話 (新倉良三) 大五、十一
新体詩
俗歌集
 花のおもひげ (天の巻、堀田金吾) 大六、三
 流汗歌 (八一モ、三刀曲譜集(久保田長吉)) 大六、三
 墓 (東京毎日新聞記念出版) 大八、二

春

春雨草紙 (大塚、足立藤二) 大九、三
表紙に男女合々命の商標あり、淫長淫果の廣告也。
 馬車馬の讚美 (雄弁、吉澤大藏) 大十、一
(人生三三、後藤美雄)
 春ハダ (十一月号、長岡繁行) 大十一、十一
 半男半女考 (官武外骨) 大十一、五
 初まきく (出雲山人) 大十二、六
 煩惱情記好色一代男 (譜終巻巻三三号) 大十三、二
 馬賊になるまで (新編、覆面浪人) 大十三、二
 黄耻醜文 (創刊号) 大十三、四
 破瓜期 (紅悟若人) 大十三、五
 累風 (第一輯、樋口見徳) 大十四、三
 白虹詩集 (馬川白虹) 大十四、十一
 半世紀前の話 (信天翁三号、奥村哲) 大十四、七
 破貞の経路と自衛 (佐藤和壽輔) 大十五、三
 反 (下級一見見よ)

波羅門神學 (田村吉久) 昭三十二
 犯罪現場寫真集 (伊藤隆文) 昭五九
 巴里のドン底 (初版高橋野太郎訳) 昭五十一
 巴里上海工口大市場 (大端工口叢書) 昭五十二
 巴里青髯事件 (紙葉の世界社) 昭七九
 春の社會學 (初版井上吉次郎) 昭八四
 法廷に表れた強盜強姦殺人放火 泉鏡花著 (藤田) 昭八

【ひ】
 一人息子に嫁八人 (夜鐘鐘故、井上春三郎) 昭十六五
 旭都美人の面影 (小林萬太郎) 昭三六
 土産 美味譚集 足立康吉) 昭二四六
 ひみつの箱 (眞條桂藏) 昭二七六
 美人はなくらべ (甲村良太郎) 昭二八一
 雛子と赤子 (中央新聞、江見水廣) 昭三十八
 百の花 園 (新澤、細野啓藏) 昭三十一
 百の花 園 (第二九号、金谷善郎) 昭三三三
 商家の内幕 秘密笑談 (井口松之助) 昭三三六
 抱腹絶倒 秘密笑談 (山口義三) 昭三九九
 貧福の戦争 (山口義三) 昭三九九
 美人の秘密十法 (大阪、榎本政之助) 昭四〇六
 ぼれる 桶中放浪 (鶴田久作) 昭四三七
 平良火の柱 (木下尚江) 昭四三九
 ひめころし (大阪、岡本増次郎) 昭四四八

校籍 目録 (南一実亭) 大元四
 眞秘美人の内幕 (三重、山田貞夫) 大二六
 秋 密綺法 (岡本増次郎) 大三十一
 美人の末路 (大阪、渡川浅次郎) 大三三
 飛花落葉 (上方趣味、新春の巻) 大五一
 秘密の奥の手 (蝶夢耕人) 大五二
 美妓の血涙 (夜行坊) 大五十一
 離 僧 (三田文庫、山崎俊天) 大五十一
 人 の 道 (小田幸太郎) 大五十二
 美 貌 の 友 (毛呂ハツ子全集二、廣津和郎) 大九十一
 貧民窟の女と戀 (人情倶楽部四、三) 大九十二
 人妻の手紙 (青年文藝、松浦重郎) 大九十二
 緋 縮 緬 (第一二頁、大阪平井徹) 大九十二
 拾った貞操 (文藝新道、四、高木義信) 大九十五
 丙午の娘 (江原小弥太個人雜誌十五号) 大九十五
 大十五回

美の癡 墟 (ある天婦—を見よ)
 ビューティニスポット (永田道) 昭九五
 ひと眼見た時好きになつたのよ (智恵院太郎) 昭六三
 左り 稜人情 (初版、平山蓋江) 昭八六

【3】

開巻巫山の夢 (骨皮道人) 明十六、四
 一 笑 藝共進會 (五巻八号、野村胡堂) 明三七、八
 墳墓の地 (矢野政三) 明三四、五
 風流鴛宿梅 (不詳) 明三八、五
 富美子 姫 (生日葵山) 明三九、二
 婦人間題 (塚利彦) 明四〇、九
 夫婦夜の樂 (大阪、櫻本校之助) 明四〇、六
 復讐 (佐藤紅緑) 明四一、四
 春色梅ごよ美 (鈴木與八) 明四二、四
 ふらんす物語 (永井荷風) 明四三、三
 筆屋の娘 (木下乃、篠原時美) 明四三、四
 風流艶書集 (第一巻、中村政之助) 明四三、六
 笛 (小山内薫) 明四三、七
 婦人間題の解決 (青踏、三ノ号) 大ニ、二

夫婦のたのしみ (六種、大坂、福田金吾) 大ニ、四
 副 牧 師 (早稲田大學、吉田綾三郎) 大五、一
 醜 男 (帝國文學、久米正雄) 大五、四
 舞踏會の後 (赤才大壇、米多恒三郎) 大五、四
 婦足かむろ (藤武雄) 大五、六
 夫婦となるまで (松野綠雄) 大六、八
 二つの虚像 (文章世界、江古漢) 大七、十
 版袖系圖 (前編、小杉天外) 大八、三
 婦人性學 (秋元浩二) 大八、四
 古 池 (可觀、第七号) 大九、十
 不倫の男女畜生道に陥る (あけつき、第一号) 大十、三
 密封不埒なる男妾の正体 (森蒼太郎) 大十二、五
 ふくみ笑ひ (藤部四郎) 大十四、八
 文明の崩壊 (池田林儀) 大十四、三
 辯富士の如く (田中龍大) 大十五、三

文藝俱樂部

文章世界 (移り行く恋、都会、蘇白痴のろけ箱、破理—を見よ)
 文章俱樂部 (運命の醜さ—を見よ) ニツの虚像—を見よ)
 文 學 界 (天魔王—を見よ)
 文 藝 界 (夜の東京—を見よ)
 文藝と宗教 (逃走—を見よ)
 文 藝 街 道 (拾った貞操—を見よ) 二 (月下水人、弱き善人—を見よ)
 不 房江と準吉の恋 (坂東二郎) 昭四、六
 婦人性生活の心理 (南井昭三) 昭四、九
 風俗資料研究 (第一輯、伏原寛三) 昭五、五
 分類未摘花 (山崎遠堂) 昭六、十一
 夫婦に於ける受胎 (平野警言) 昭八、十

【4】

兵神藝者評判記 (岸本由之助) 明二四、七
 臍の宿がへ (瀬山佐吉) 明三五、九
 べらむめえ (第二部) 明三九、三
 霹 靂 報 (田岡精賢) 明四〇、十
 壁 畫 (水野益太郎) 明四四、五
 徳川幕府版圖書展覧會目録 (宮武外骨) 明四四、五
 風 (三田文雄、谷崎潤一郎) 明四四、十
 勉強の仕方 (又樂社) 大ニ、二
 ベラミ (小野秀雄) 大三、五
 現代ベル・アミー (徳田秋聲) 大三、九
 兵營の告白 (相澤富藏) 大五、二
 兵營の黒幕 (青山清吉) 大五、二
 霹 靂 (樋口環) 大五、六
 柏林夜話 (小山内薫) 大五、十二

愛 能心 理 (私の愛能心理―を見よ)

表情法の秘傳 (永田竹次郎) 大六十
愛能崇拜史 (齋藤昌三) 昭三、一
愛能交婚史 (藤澤衡彦) 昭二、二
愛能性的婦人犯罪考 (石角春之助) 昭三、十一
愛能序文集 (第々崎浪人) 昭二、

【ほ】

豊新廓細見 (愛知、櫻本清七) 昭三、十二
不 如 歸 (蘆花の偽作本) 昭四、三
ポケット風流論語 (杉浦誠三郎) 昭四、十
北清駐屯記念悪乱高真帖 (中崎洋行) 大二、四
ボワリー夫人 (中村星湖) 大五、六
探偵捕 縄 (加茂川龍鳳) 大十五、十
ホトトギス (おんむしーち見よ)
惚れられるまで (不 詳) 大六、六
本 朝 奇 聞 (何山繁) 昭三、五
補遺デカメロン (森田草平) 昭五、八
補益術詳説 (古典社) 昭九、

【ま】

真楽一種房々検査 (佐々木由太郎) 昭十三、三
幕 羅 草 誌 (岩本順太郎) 昭三、十二
満 壽 羅 雄 (第四、中丸貞義) 昭三、八、六
魔 詩 人 (田口柳汀) 昭三、五、十
魔 風 (芥田武子) 昭四、六
魔 睡 (スバル、森鷗外) 昭四、二、六
数満韓浄瑠璃 (野口復堂) 昭四、四、一
圓 窓 よ り (平塚らいてう) 大二、五
松 の 聲 (小杉天外) 大二、八
マダム・ボヴリー (水上 齊) 大三、十
マダム・ボヴリー (田山花袋) 大三、六
まゐらせ候 (渡辺喜樓) 大五、六
豆 ランプ (三浦添田平吉) 大五、六
真 人 間 (中村吉義) 大五、十二

【ま】

新画 幻 の 塔 (近藤謙治) 大十一、五
魔窟研究誌 (醫人新年輯) 昭四、一
幻強盗懺悔録 (無限社書房) 昭五、十
萬 青 録 (原田黄菊) 昭五、十
魔に憑かれて (世界名作大庫) 春陽堂、昭九、

【み】

緑源氏 (讀書新聞、渡山人) 明三、一
 未来の浮世 (第一編) 明三、四
 未嘗者と衛生 (天作造) 明四、六
 本三 笠山 (村上星野) 明四、九
 未亡人 (慶女、五月号、藤井キヨシ) 大五、五
 未亡人の性的生活 (性七ノ三号) 大十二、二
 未成胎児 (水野正次、自家版) 大十四、五
 密話 (性文学創刊号、牧元捕郎) 大十五、一
 三田文學 (蓬引、光緒、悪衣花笠、森、淡、鸚鵡、一を見よ) 大十五、一
 民衆の藝術 (生の反逆一を見よ) (息づまる話一を見よ)
 都の花 (淫濤、大恥辱一を見よ)
 未亡人 (日本文献書房) 昭四、二
 緑の傳書鳩 (葵、面鏡) 昭五、十一

【む】

必携無羅すいめ (西田角義) 明二、八、四
 むき出しの女 (沖島景風) 大七、三
 無産者 (西川百子) 大八、十一
 無想庵無語 (武林無想庵) 大十一、九
 娘太平記操早引 (甲川初伊) 昭三、八

【め】

妙薬奇覽 (谷屋嘉吉) 明六、十一
 目から鼻へぬける人 (瀬山佐吉) 明三、五、九
 明星 (第八号、與謝野寛) 明三、三、七
 明治文學側面鈔 (第一号、四、齊藤未鳴) 大五、一
 酩酊後の性慾異状症 (醫風七号) 大十一、五
 芽の出る頃 (関口鎮雄) 大十二、三
 メランコリー (創刊号) 大十五、一
 明治性的珍聞史 (上、中巻、梅原北明) 昭二、一

【も】

モリエール全集 (甲著、草野紫三) 明四、三
 物識天狗巻附百種 (天辰、岡本増太郎) 明四、三、三
 モウパッサン短篇傑作集 (三宅野花) 明四、二、六
 森の中 (モウパッサン、小杉香村) 大三、十
 モリエール全集 (草野紫三、金尾文判堂刊) 大五、九
 モ (二月号、福島市) 大十一、一
 燃え立つ心 (地方行政五月号、神山京助) 大十四、五
 黙示 (中村能二) 大十四、九
 モダンガール秘話 (大久保北春) 昭二、六
 盛岡猥談集 (橋正一) 昭五、五
 モダン千夜一夜 (田中直樹) 昭六、四
 モダン恋愛デパート (山内一煥) 昭六、九
 モダン語漫画辞典 (中山由五郎) 昭六、十一
 モル性慾科學大系 (上巻、日本医学研究所) 昭九、

【や】

燒芋の煙 (東京日日新聞、福地櫻痴頭三〇)
 小八重櫻 (橋原北明、大阪圖書會社刊)
 文芸市場の梅原氏とは何名異人なり (明二六二)
 垣 (文芸俱樂部、内田魯庵) 明三四、一
 役者の裏面 (大學館刊) 明三六、五
 谷中村滅亡史 (荒畑寒村) 明四〇、八
 野人語 (二二卷、木下尚江) 明四四、三
 トリス閣の力 (文明叢書、林鶴南) 大三、十一
 暗より光へ (紫原淑子) 大十四、十二
 ヤー マ (種田寛) 大十五、
 耶蒲縁 (上下三冊、詩歌書房) 昭四、十二
 軟い船 (坂本石創) 昭五、六

【ゆ】

夢野道鏡花水月 (新小説、依田半界) 明三四、四
 夕涼西國みやげ (不詳) 明三八、四
 浴せる女の群 (生活七月号) 大六、七
 夢物語 (徳島葛西凌雲) 大六、九
 夢と白骨との接吻 (菊地輝武) 大十四、七
 雄辯 (蒼白き象窟、青春の頃―を
 見よ) 昭五、九
 エーモア性典 (裏河実雄) 昭五、九
 遊女物語 (不詳) 昭五、十二

【よ】

直言横濱の解剖 (右横濱新報記者、伊藤仁太郎) 明三三、二
 新吉原まことぶし (丸山廣義) 明三七、六
 横濱獨まなび (鈴木種) 臨時増刊、明三五、九
 夜の東京 (文藝界、臨時増刊) 明三五、九
 横濱文學 (二卷四号) 明三六、十
 夜半の友 (不詳) 明四一、六
 世の婦人達に (青踏、平塚富島) 大六、四
 夜の大坂 (二夜夜の秘密、勝永徳太郎) 大二、五
 遊女吉原夜話 (高野菊子) 大二、七
 浴せる女の群 (生活七月号、セザンヌ) 大二、七
 娯夜の快樂 (三野勿來) 大二、八
 奇絶夜の秘密 (大坂、山中又太郎) 大五、二
 よだれかけ (珍書刊行會叢書第七冊) 大五、三
 夜 (青年四ノ八号、モウ、ハツシ) 大五、八

よし原花の世界 (創刊号)

世の中貧福論 (今井助敏) 大五、十二
 夜の女の幕 (二花生) 大六、六
 横濱夜話 (井上晃太郎) 大十二、七
 弱き善人 (不二、倉田百三) 大十三、四
 夜の大坂夜の神戸 (四ノ九号) 大十三、十
 世の中福福論 (近世日本文学、大系十区、舎二九集) 大十五、七
 夜の大坂 (大正十四年、十二月号) 大十五、七
 夜の中 (大正十五年、二五、七、八、十月号)

【ら】

裸体画 苑 (此花第一夜宮武外骨頭三、一)
 ラサー ル (幸徳秋水) 明四三、九
 樂天囚人 (環利友) 明四四、六
 ラヴ・ウーマン (森野しげ子) 大五、四
 落語 選 (不詳) 大七十一
 卵 集 (富倉福太郎) 大十四、三
 蘿舞舞連多雜考 (池田文新庵) 昭三、六
 赤語滑稽本 (近代日本文学大系) 昭三、六
 ラスパーチン犯罪史 (日本大蔵書房) 昭四、七
 裸体美の感覺 (榎岸栄隆) 昭六、六

【り】

柳橋新誌 (第一編、成島柳巷) 明三、
 同 (第二編、同) 明六、
 同 (第三編、同) 明十、
 流行万才芝居 (夏目徳三郎) 明三六、一
 理想郷 (環祐川) 明三七、三
 俚談類纂 (熊代茂太郎) 明四二、七
 旅舎 (中央公論、水野葉舟) 明四三、二
 旅行 (二名、右古屋繁昌記) 大六一、
 離昏への道 (新小説十隻愛蔵) 大七一、
 輪廻 (森田草平) 大七五、一
 輪舞 (高橋昌平訳) 昭六、十一

【る】

ルクレシア (百華八ノ五、近藤経二) 大六五

【れ】

悪愛文学 (春陽堂) 明三三、十二
 悪愛の文學 (田村九兵衛) 明三八、二
 靈肉 (三冊、木下尚江) 明四〇、五
 悪愛と性慾 (沢田順次郎) 明四三、三
 冷 涙 (後藤宙外) 明四三、二
 レディースマン (板垣邦彦) 大三、十
 悪愛不性慾 (宇高 寧) 大十四、七
 悪愛販賣業者 (熊谷椿太郎) 昭四、七
 悪愛無政府 (天木篤夫訳) 昭五、四
 獵奇風俗の向睨 (長河達夫) 昭五、九

【ろ】

露國虚無党華情 (河西道徳) 明十五、九
 秘密ローマンズ (軍頭舎主人) 大七、十二
 ロッパス研究 (幻三園増刊、原比露志) 昭七、九

悪愛戦術異状あり (天贈舌叢書) 昭五、十二
 聊齋志異 (第一巻、第一書房) 昭八、

るれ

れろ

わ

【わ】

- わかれたる女の日記 (歌島大浪) 明四四・二
- 猥褻風俗史 (宮武外骨) 明四四・四
- 猥褻研究會雜誌 (号外、宮武外骨) 大五・七
- 吾輩は馬である (岩田鳥山) 大七・一
- 吾輩は居候である (三太郎) 大七・六
- 猥褻と科學 (宮武外骨) 大十三・二
- △松の妻態心理 (妻態心理、綿貫六助) 大十三・五
- 痴奴 (第一集、放江庵主人) 大十三・十一
- 早稲田文學 (地上に現るゝもの、副牧師) (見よ)
- 猥談奇考 (河原萬吉) 昭三・八
- 猥談往來 (湯浅修二) 昭三・十
- 妾の處女を失ふ時 (珍奇文學刊行會) 昭六・七
- 笑の 花 (松風莊主人) 昭六・七
- 就島の 唄 (初版、春秋社) 昭八・

文藝筆禍索引 終



編輯私記

明治元年から昭和九年までの約七十年間、文藝書の厄に遇つた文藝筆禍索引を編輯するに當つて、第一に感したことは、文藝作品が存外勘ないことです。純大藝のみを拾ひ蒐めたのでは本の形をなさない位で、止を得ず多少これに連絡あるもの、興味中心のもの、趣味のもの、思想方面のものも取捨選擇して載せました。併し極左傾もの、極端な性慾ものは可成これを避けたことを御諒承願ひます。

併かも昭和期になつてからは文藝の筆禍は一層減じて性慾ものが俄然頭角を現はして来ましたがこれも最近には性慾ものが殆ど一掃され其他の筆禍本も非常に僅少になつたやうですが、これは云ふまでもなく非常事日本に騰起した讀書界當然の覺醒であつてまことに結構なことです。本書は極めて少数の書誌学研究家の参考として、夫つた貳百部の豫定でやつたのですから活版にすると非常に高くつくので「いかもの趣味」の特別部

302
69

として騰島版で印刷したことをお詫申上ります。後日おつと完全なものとして活版刷にして出すかも知れませんが、氣まぐれですからあまり當になりません。筆禍番附はほんの餘興のつもりで調べて見たのですが、これも昭和期に入ると全部が位置傾倒する程違つたものになります。本書は元來明治期を中心にして編輯したのですから、それでは面白くないと思つて、態と大正期で打切つて拵へて見たのですが一寸参考にならうかと思ひます。

本書を編輯するに當つて齊藤先生の筆禍大年表と中野栄二氏の助力とに深甚の謝意を表します。

編輯中に発見した未詳のものや漏れたものも若干訂正補足して置きました。例へば山田美妙の「大恥辱」が、古典社の整止書目にも、齊藤先生の文藝筆禍史にも又大年表にも舞数未詳とありますが、私の裁書中にありましたから載せて置きました。尚参考までに永洗筆の挿画も原画通りに模寫して巻頭に挿入しました。克明に調べると斯うした少々な発見が時々あるので面白いです。

いかまの趣味第五舞は丁度時期を當へんで「お祭り風俗舞」を出しますから引續き御後援願ひます。尚御寄稿下さらば望外の光栄です。

昭和十年三月

竹 醉 誠

302

69



終

